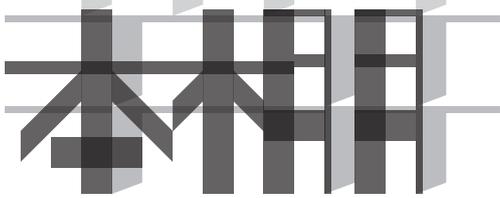


書・架・見・聞



## 診療放射線学辞典 第2版

総編集：渡部洋一・金森勇雄



この辞典は、医療分野で放射線業務を行う医師や看護師をはじめとする多くの医療職だけでなく、放射線技術学を学ぶ学生も対象としている辞典で、2017年に初版が発刊されて以来6年ぶりに第2版として改訂された。初版に収録された用語は18,200項目だったのに対して、第2版では25,400項目と7,200項目の追加が行われている。本辞典に取り入れられている用語は、診療放射線技師教育の基本科目となる「基礎医学大要」,「放射線生物学」,「放射線物理学」,「放射化学」,「医用工学」,「診療画像機器学」,「エックス線撮影技術学」,「診療画像検査学」,「画像工学」,「医用画像情報学」,「放射線計測学」,「核医学検査技術学」,「放射線治療技術学」,「放射線安全管理学」を中心に構成されている。また、放射線分野のみならず「画像診断」,「看護」,「病理」,「医薬品」,「臨床検査」,「臨

床工学」等に関する用語も取り入れられていることが特筆される点である。

診療業務や勉強をする際に分からないことや疑問が生じた場合、様々な教科書や専門書を調べることになる。しかし、教科書や専門書の多くは内容を詳細に記述しているため、簡潔にかつ読みやすい文章量になっているものは少ない。本辞典はその点に着目して専門用語をできるだけ簡潔に説明しており、ちょっとした調べものをする利用者にとって非常に便利となっている。また、要所に図表や画像が取り入れられているため、内容を理解しやすい構成となっている。個人的に便利と感じたことは、用語の英語表記が記載されており、英語論文やスライド作成で専門用語の英語表記を簡単に確認できる点である。加えて巻末には外国語索引が付属していることも専門用語の確認に便利である。

急速なデジタル化が起きている現代の情報化社会においてちょっとした調べものはインターネットが便利だと思われる。しかし、インターネット上にある情報を自身で取捨選択し、更には集めた情報の正確性を判断する必要があるため、医療分野で用いられる専門用語を正しく理解するのは容易ではない。そういった意味で本辞典のように多くの専門用語をまとめてあるツールは放射線技術学を学ぶ学生や診療放射線技師、医学物理士の教育に役立つと思われる。

(松友 紀和 杏林大学 保健学部)

(ISBN978-4-86003-146-6, A5判, 2016頁, 定価19,800円(本体18,000円+税10%), 医療科学社,  
<http://www.iryokagaku.co.jp/frame/03-honwosagasu/146/146.html>, 2023年)

## 日本アイソトープ協会新刊書籍ラインナップ

### ● 10版 放射線取扱の基礎 — 第1種放射線取扱主任者試験の要点—

2024年3月6日発売 【ISBN: 978-4-89073-290-6】

〈定価5,500円(本体5,000円+税10%) 会員割引価格4,950円(本体4,500円+税10%)〉

### ● 8版 密封線源の基礎 — 第2種・第3種放射線取扱主任者のために—

2024年3月18日発売 【ISBN: 978-4-89073-291-3】

〈定価4,950円(本体4,500円+税10%) 会員割引価格4,455円(本体4,050円+税10%)〉

### ● 5版 放射線安全管理の実際

2024年3月18日発売 【ISBN: 978-4-89073-292-0】

〈定価4,950円(本体4,500円+税10%) 会員割引価格4,455円(本体4,050円+税10%)〉